



令和5年9月8日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 306(2023年9月)

■クラウドファンディングプロジェクト支援者募集！ 「【第12弾】開場100周年、大阪松竹座の歴史を紐解く資料を未来へ。」

公益財団法人松竹大谷図書館では9月5日よりクラウドファンディングサービス「REDAYFOR」にて、本年開場100周年を迎えた大阪松竹座の歴史的な資料を未来へと遺すため、補修とデジタル化を行うプロジェクトを開始いたしました。

当館では平成25(2013)年より、クラウドファンディングで貴重資料のデジタル化や保存プロジェクトに取り組み、毎年成果を上げております。

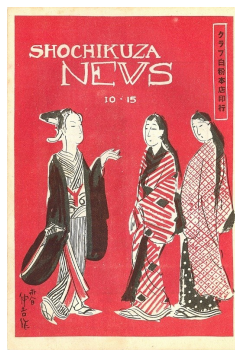
そこで今年度は、関西初の本格的な洋式劇場として大正12(1923)年5月に建築・開場した大阪松竹座の開場100周年を機に、戦前に発行されていた『松竹座ニュース』など当館が所蔵する貴重な資料を補修・デジタル化し、より良い状態で保存することで資料を守り、さらに将来にわたり広く活用していくプロジェクトに取り組みます。

戦前の大阪松竹座では、映画、レビューのほか実演、舞踊公演、コンサートなど、実に多彩な興行を行っており、配役やあらすじなどが掲載された無料プログラム『松竹座ニュース』が発行されていました。

当館では『松竹座ニュース』の他にも、松竹座編集部発行の『松竹座グラフィック』、松竹楽劇部(後のOSK日本歌劇団)の拠点であった大阪松竹座公演プログラム『春のおどり』など、戦前の大阪松竹座の貴重な公演資料や雑誌を約600点所蔵しています。



開場当時の大阪松竹座
『松竹座グラフィック』大正15年第4号第4巻より



『松竹座ニュース』
(昭和3年4月)表紙

今回のプロジェクトで、演劇と映画、両ジャンルにとって重要な興行資料であり、美術資料としても貴重なこれらの資料をデジタル化し、閲覧しやすい環境を整えることで、演劇・映画興行史の研究に貢献すると共に、今後もより多くの方に活用していただきたいと考えております。

当館は平成24(2012)年に専門図書館として初めてクラウドファンディングに取り組んで以来、毎年プロジェクトで成果を上げ、昨年まで11年に亘るご支援は累計で3,419万円を超えました。これも偏に皆さまが当館の活動に賛同し、お力添え下さったおかげと、職員一同厚く感謝を申し上げます。

12回目となる今年度のプロジェクトにおきましても、皆さまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

【本プロジェクト概要】

プロジェクト名:「【第12弾】開場100周年、大阪松竹座の歴史を紐解く資料を未来へ。」

募集期間:2023年9/5(火)11時~10/25(水)23時【50日間】

目標金額:250万円『松竹座ニュース』及び関連資料補修・デジタル化費など215万円、利用手数料35万円)

募集金額:一口 3,000円 / 5,000円 / 10,000円 / 30,000円 / 50,000円

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトへの支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、税制の優遇措置は受けられません。

▼詳しくはURLまたはQRコードよりプロジェクトページをご覧ください

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan12>

SNS(Facebook, Instagram, X)でも情報発信しております



目次:

クラウドファンディングプロジェクト支援者募集！ 「【第12弾】開場100周年、大阪松竹座の歴史を紐解く資料を未来へ。」	1
第99回所蔵資料ミニ展示 山田洋次監督展 第八弾－1990年代の映画13作品と、歌舞伎『人情断七元結』－	2
所蔵資料紹介－[9]「二世中村吉右衛門関連図書」－	2
新たに資料をご寄贈くださった方々	3
新着資料案内	3
新規登録資料案内	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
利用案内	4

■第99回所蔵資料ミニ展示 山田洋次監督展 第八弾 —1990年代の映画13作品と、歌舞伎『人情噺文七元結』—

9-10月の当館の所蔵資料ミニ展示は、9月1日に山田洋次監督の90作目となる最新作『こんにちは、母さん』の公開を記念し、「山田洋次監督展 第八弾 —1990年代の映画13作品と、歌舞伎『人情噺文七元結』—」を開催いたします。

1990年代の山田監督は、三国連太郎を主演に、反発し合う父と子が和解に至るまでを描いた『息子』(1991)、様々な「学校」に集まる人々の姿を優しいまなざしで映し出した『学校』(1993)、『学校II』(1996)、『学校III』(1998)と、心温まる名作を送り出しました。一方、国民的作品『男はつらいよ』シリーズでは、主演の車寅次郎役で親しまれた渥美清が1996年8月に逝去、1995年公開の第48作が最後の出演作品となりました。1996年12月に公開された、映画館が舞台の『虹をつかむ男』はその渥美清に捧げられた作品で、渥美清自身がCG合成で一場面に登場しています。

そして、今回は演劇資料より、本年10月に歌舞伎座「錦秋十月大歌舞伎」で山田洋次監督の歌舞伎座初演出となる『文七元結物語』が上演されることを記念し、平成19[2007]年10月新橋演舞場上演の歌舞伎『人情噺文七元結』の資料を展示します。十八代目中村勘三郎が主演したこの舞台で、山田監督は初めて歌舞伎の補綴をてがけました。舞台面と呼ばれる舞台全体を写した写真4枚と、十八代目勘三郎や三代目中村扇雀が写る舞台写真2枚を展示しています。後にシネマ歌舞伎にもなった作品です。

また閲覧用資料として、『男はつらいよ 拝啓 車寅次郎様』の「男はつらいよ」25周年記念 愛蔵版プログラム、『男はつらいよ 寅次郎紅の花』のシナリオが掲載された「シナリオ」、『学校』『息子』の特集や山田監督のインタビューが掲載された「キネマ旬報」「シネ・フロント」などの雑誌を、閲覧室内のラックにご用意しています。



上左より：男はつらいよ(第43作より第49作まで)
下左より：息子、学校、学校II、学校III、
虹をつかむ男、虹をつかむ男(南国奮斗篇)

現在、閲覧席と所蔵資料のご利用は、引き続き前日までにご予約いただいております。展示はご予約無しでご覧いただけますが、他の資料も時間をかけて閲覧されたい方は、是非お席をご予約の上お楽しみください。また、当館のOPACで、山田洋次監督の台本やプログラム等を検索できます。

▼資料検索(OPAC)

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

1990年代だけでなく、デビュー当時や昭和年代、そして2000年以降の作品も検索できますので、閲覧をご希望の資料がありましたら、是非閲覧席をご予約ください。

**閲覧室ミニ展示「山田洋次監督展 第八弾
—1990年代の映画13作品と、歌舞伎『人情噺文七元結』—**

展示期間: 2023年8/28(月)~10/25(水)/時間: 平日10時~17時/休館日: 土日祝日、毎月最終木曜日/展示場所: 松竹大谷図書館 閲覧室
※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。

松竹大谷図書館 TEL 03-5550-1694(平日: 10時より17時)
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

■所蔵資料紹介 —[9]「二世中村吉右衛門関連図書」—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー。今回は、今月の歌舞伎座公演「秀山祭九月大歌舞伎」の「二世中村吉右衛門三回忌追善」にちなみ、二世中村吉右衛門に関する図書をご紹介します。

こちらの3冊は、元毎日新聞記者で演劇評論家の小玉祥子氏が、二世吉右衛門の聞き書きをもとにまとめた本です。巻末には、当館が作成した二世吉右衛門の舞台、映画、テレビ出演の詳細な年譜が掲載されております。特に『完本中村吉右衛門』の年譜は、初舞台から最後の出演作となった舞台までを網羅した57頁にもなる完全版となっています。

当館では歌舞伎、新派などの演劇上演記録データベースを独自に作成しており、歌舞伎座などの筋書に掲載されている上演年表の作成も担っております。こちらの3冊に掲載された年譜は、当館のそうした上演記録の積み重ねの成果なのですが、このように出版物として形になったことは当館としても大変有難いことです。

二世吉右衛門ゆかりの演目が並ぶ今月の「秀山祭」では、ぜひこちらの年譜もご覧いただきながら、二世吉右衛門の素晴らしい舞台を思い出していただければ幸いです。



写真左より

- 『二代目 聞き書き中村吉右衛門』小玉祥子(著) 平成21年 毎日新聞社
- 『二代目 聞き書き中村吉右衛門』(朝日文庫)小玉祥子(著) 平成28年 朝日新聞出版
- 『完本中村吉右衛門』小玉祥子(著) 令和4年 朝日新聞出版

当館閲覧室で閲覧できます。ご希望の方は閲覧席をご予約ください(※前日までの予約制)。当館HPの「資料検索」で検索可能です。

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

新たに資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2023年7月まで) ※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、キネマ旬報社、シアタークリエ、邦楽の友社、文学座、愛知芸術文化センター、一般社団法人伝統歌舞伎保存会、有限会社合同通信社、国立劇場、株式会社オフィスタカヤ、若林さだ吉、劇団銅鑼、国立歴史民俗博物館、国立映画アーカイブ、吉田光範、川崎哲男、一般財団法人映画倫理機構、林佐織、一般社団法人日本民間放送連盟、公益社団法人日本照明家協会、樽松大剛、株式会社カモミール社テアトロ編集部、丸善雄松堂株式会社、日本映画テレビプロデューサー協会、劇団民藝、(株)近代映画社、おとなのデジタルTVナビ編集部、博多座、劇団青年座、銀座百店会、東宝株式会社ライツ事業部、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、株式会社日本舞踊社、竹内和寛、仲村恒平、無声映画鑑賞会、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、シナリオ・センター、日本アカデミー賞協会、人形劇団ブーク、博物館明治村、公益財団法人日本近代文学館、日本大学芸術学部演劇学科、丹野達弥、山本吉之助、立命館大学アート・リサーチセンター、文京ふるさと歴史館、公益社団法人日本演劇興行協会、銀座 博品館劇場、新国立劇場情報センター、株式会社文学座、墨染会

どうもありがとうございました

新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします) 新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系8月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『次郎長外伝 裸道中』	○	○		
	『大江山酒呑童子』	○	○		
	『新門辰五郎』	○	○	○	○
	『団子売』		○		
	『三代猿之助四十八撰の内 新・水滸伝』	○	○		
新橋演舞場	『ビートルジュース』			○	
南座	『怪談牡丹燈籠』	○		○	○
松竹座	『OneANOTHER』			○	○
RaiBoC HALL	『歌舞伎舞踊特別公演』			○	

葉)座・高円寺1プログラム/FUKAIPRODUCE羽衣『女装、男装、冬支度』吉祥寺シアタープログラム/範宙遊泳『バナナの花は食べられる』神奈川芸術劇場中スタジオプログラム/『第三十三回上方歌舞伎会』国立文楽劇場プログラム

◆映画資料◆『ミンナのウタ』台本、ポスター、プログラム/『アイドルマスター ミリオンライブ! 第1幕』プログラム/『こんにちは、母さん』台本、ポスター、プレス、プログラム

◆映画プログラム◆(順不同)『バービー』『せかいのおきく』『エゴイスト』『コンペティション』『パラレル・マザーズ』『それいけ!アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント』『ナチスに仕掛けたチェスゲーム』『僕の町はお風呂が熱くて埋蔵金が出てラーメンが美味しい。』『ロストケア』『逃げされた夢』『それいけ!ゲートボールさくら組』『エッフェル塔 創造者の愛』『魔女の香水』『映画 かいけつゾロリ ラララスターたんじょう』『ふたりのマエストロ』『MEGザ・モンスターズ2』『私たちの声』

◆演劇雑誌◆(順不同)『AAC』Vol.117/『Confetti』2023年September/『DRAMAかながわ』89号/『the座』118号/『あぜくら』2023年8月号/『げき』26号/『つどい』56号/『ほうおう』2023年10月号/『ジョイン』No.106/『ステージびあ』2023年7+8月号/『テアトロ』2023年9月号/『ラ・アルプ』2023年9月号/『喝采』2023年11月、11月特別号/『紀尾井だより』2023年9月-10月号/『劇評』第17号/『国立演芸場公演ガイド』令和5年9月号/『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』17号/『大向う』令和5年8月号/『日本芸術文化振興会ニュース』2023年9月号/『日本照明家協会誌』2023年8月号/『日本舞踊』75巻9月号/『悲劇喜劇』2023年9月号

◆映画雑誌◆(順不同)『FLIX』2023年10月号/『SCREEN』2023年10月号/『TVガイド』2023年8/4号、8/11号、8/18号、8/25号、9/1号/『おとなのデジタルTVナビ』2023年10月号/『キネマ旬報』2023年9月号/『シナリオ』2023年10月号/『シナリオ教室』2023年9月号/『ドラマ』2023年9月号/『ピクトアップ』2023年10月号/『映画テレビ技術』2023年9月号/『映画芸術』484号/『映画撮影』No.236/『映画時報』2023年7月号/『映畫と演藝』臨時増刊レヴュー號/『日経エンタテインメント!』2023年9月号/『文化通信ジャーナル』2023年9月号

◆他社演劇公演資料(2023年6月-8月)◆(順不同) みそじん『黒星の女』吉祥寺シアタープログラム/タカハ劇団『おわたり』シアタートッププログラム/劇団チョコレートケーキ『ブラウン管より愛をこめて 宇宙人と異邦人』シアタートラムプログラム/ハイバイ『再生』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/ピンク・リパティ『点滅する女』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/serial number『スローターハウス』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/劇団印象indian elephant『犬と独裁者』下北沢駅前劇場プログラム/SPIRAL MOON『雨の世界』下北沢「劇」小劇場プログラム/大森カンパニープロデュース『更地18』ザ・スズナリプログラム/レプロエンタテインメント×BS松竹東急『君しか見えないよ』浅草九劇プログラム/文学座『夏の夜の夢』紀伊国屋サザンシアター-TAKASHIMAYAプログラム/『野外劇テンペスト』まつもと市民芸術館トップガーデン特設会場プログラム/音楽劇『シミグダリ氏または麦粉の殿』東京文化会館小ホールプログラム/OSK日本歌劇団『レビューRoad to 2025!!』クールジャパンパーク大阪TTホールプログラム/『家族モドキ』シアタークリエプログラム/『ムーラン・ルージュ!ザ・ミュージカル』帝国劇場プログラム/尾上右近自主公演『第七回研の會』浅草公会堂プログラム/小松台東『オイ!』ザ・スズナリプログラム/EPOCH MAN『我ら宇宙の塵』シアタートッププログラム/あやめ十八番『六英花 朽』

新規登録資料案内 (順不同) 新しく受入れた資料をご案内いたします

『俳優原田芳雄』『沖縄映画研究会3周年記念誌 女優・真喜志きさ子』『三船敏郎、この10本 黒澤映画だけではない、世界のミフネ』『小津安二郎 永遠の映画 増補新版』『岩井俊二「Love Letter」から「ラストレター」、そして「チーフアの手紙」へ』『ショーケン 別れのあとに天使の言葉を』『職業としてのシネマ』『戦中戦後の軽井沢疎開生活と千ヶ滝分校の記憶 軽井沢小学校千ヶ滝分校同窓生文集』『LITTLE WOMEN グレタ・ガーウィグの世界 ストーリー・オブ・マイライフ わたしの若草物語』『男はつらいよ おかえり 寅さん』『平成大特撮1989-2019』『音が語る、日本映画の黄金時代 映画録音技師の撮影現場60年』『居眠り磐音 劇場版00』『にっぽんアニメ創生記 第2版』『コドモ』

ノミライ 現代演劇とこどもたち』『森光子百歳の放浪記』『映画の味わい方』『私の映画日記1 昭和12年-昭和26年』『私の映画日記2 昭和27年-昭和32年』『私の映画日記3 昭和33年-昭和37年』『私の映画日記4 昭和38年-昭和42年』『私の映画日記5 昭和43年-昭和47年』『私の映画日記別巻1 懐かしのハリウッド映画スタアと脇役』『私の映画日記別巻2 懐かしのヨーロッパ映画スタアと脇役』『私の映画日記別巻3 懐かしの浅草・神田』『ハリウッド・ギャングスター』『ハリウッドリメイク映画物語』『妖怪の世界 怪奇映画への招待』『モンスター映画の誕生』『世界SF映画物語』『ホラー映画の怪物たち』

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいているの方々(了承を得た方のみ掲載)令和5〔2023〕年8月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は感染対策のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます。

《現在のご利用について》(※2023年5月16日改定)

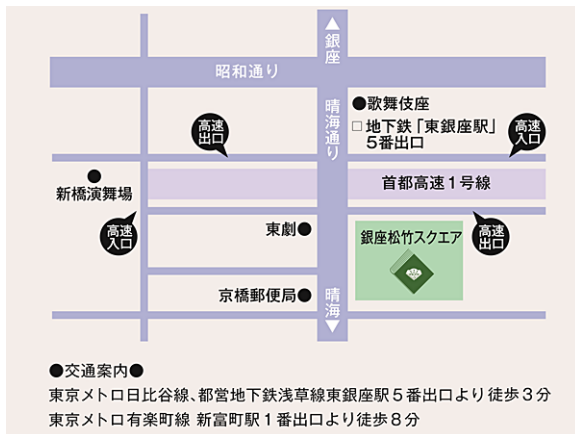
- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時～17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際はマスクの着用と手指の消毒のご協力をお願い致します。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL:03-5550-1694

公式HP● <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>